

# 第26回 日本画美術 全国選抜作家展

夢や空想で終わらせない。描いた未来がここにある。



【会期】2021年2月11日(木・祝)～2月15日(月)

【会場】上野の森美術館(東京都台東区上野公園1-2)

【主催】日本の美術選展実行委員会 【運営】株式会社 クオリアート

## 文化の杜・上野の森美術館にて、 「第26回 日本画美術」展を開催!

上野恩賜公園は江戸時代の建造物や史跡等の歴史的資源と、桜の名所や不忍池等に代表される自然環境に恵まれ、日本を代表する博物館、美術館等の文化施設が集結し、それぞれの文化芸術活動を長年牽引してきました。昨年、上野駅公園口駅舎が新しくなり、ますます注目が集まっています。

この上野恩賜公園を代表する美術館の1つ、上野の森美術館にてこの度、「第26回 日本画美術」全国選抜作家展」を開催いたしました。会場では、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、ご来場者の検温とマスクの着用を義務付け、アルコール消毒液による

入場口での手指消毒、入場者数の制限を実施するなど感染対策に配慮しつつ本展を実施。連日多くのお客様にご来場いただくことが叶いました。

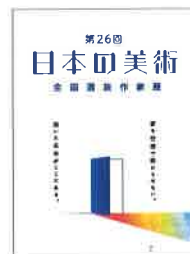
会場には日本画、洋画、彫塑・陶芸など幅広いジャンルの作品を展示し、様々な分野からお招きした審査員の方々にも全ての出品作品の審査を行なういただきました。また本展は、一般のご来場者の方々にもアンケートを通じて審査にご参加いただき、会場では鑑賞者とアーティスト、有識者が作品を通してつながる、貴重な機会を創出することが叶いました。



展覧会場入口



巨大な壁面バナーでお客様をお出迎え





多くのお客様がご来場

## 展覧会場 多様な感性が集結した展覧会。5,500名以上の来場者数を記録!

2021年2月11日(木・祝)から15日(月)の5日間にわたって上野の森美術館を会場に「第26回 日本の美術 ～全国選抜作家展～」を開催し、日本画、洋画、彫塑・陶芸など合計275点の作品を一堂に会し展覧いたしました。5日間の会期の総来場者数が5,500名を超え、祝日を含んだこともあり大勢の方々为本展に足をお運び下さり、作品を鑑賞していただくことが出来ました。

新型コロナウイルスの感染対策を行ないつつの運営であった

ため、初日には入場制限を設けるなど、ご来場者にはご不便をお掛けしましたが、ご協力いただきました皆様はこの場を借りて御礼申し上げます。

また、一般のご来場者の方々にはアンケートでの審査にご参加いただき1,500枚以上のアンケートを回収。多くのお客様から寄せられた貴重なご意見を集計し、人気アーティスト賞の選定を行ないます。後日、弊社ホームページより受賞者を発表いたします。



賑わう展示室内



## ポストカードの売上金を「世界寺子屋運動」に寄付します。

展覧会場では、アーティストの出展作品のオリジナルポストカードを販売。ご来場の皆様に本展の記念として、またお土産にお求めいただき好評をいただきました。ポストカードの売上金は、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟が実施する、誰もが教育の機会を得て、貧困のサイクルを断ち切り、自ら考えて行動を起こしていけるように、子どもたちが学ぶための環境作りをサポートしている「世界寺子屋運動」の活動に寄付させていただきます。ご出展いただきましたアーティストの皆様、ご購入いただきましたご来場者の皆様に心より御礼を申し上げます。





## 審査風景 それぞれの視点から出展作品を厳正に審査!

「第26回 日本の美術 ～全国選抜作家展～」では個性豊かな有識者や美術関係者を審査員としてお迎えし、各賞を選定しています。2月12日(金)には日本最初の現代美術画廊として、ルチオ・フォンタナやイヴ・クライン、ジャクソン・ポロック、フンデルトヴァッサーなど、海外の現代美術作家をいち早く日本に紹介した、東京画廊+BTAPの代表・山本豊津氏がお来場。豊かな知識に基づく審美眼で審査を行なっていただきました。また、同日に元・世田谷美術館副館長で、現在は美術評論家の勅使河原純氏がお来場され、アーティストと対話を繰り広げながら公正な審査を行なっていただきました。

2月13日(土)には、1人でも多くの方をアートで幸せにし、社会を豊かにするべくアトライフの普及活動を行なっている

「アートのある暮らし協会」の代表理事・枝澤佳世氏、株式会社AGホールディングズの代表でアートオークションを主催するなど、多くのアート事業に関わられている柴山哲治氏がお来場され、スペシャリストとしてそれぞれの目線で審査を行なっていただきました。

2月14日(日)には横浜美術大学学長を務め、アートコレクターとして400点以上の作品を所有する宮津大輔氏に教育者、そしてコレクターとしての立場から審査を行なっていただきました。

また今回、お来場が叶わなかったブライダルファッションデザイナーの桂由美氏には全出展作品のファイルをご覧いただき、審査にご参加いただきました。



「アートのある暮らし協会」代表理事  
枝澤佳世氏



美術評論家  
勅使河原純氏



東京画廊+BTAP代表  
山本豊津氏



ブライダルファッションデザイナー  
桂由美氏



横浜美術大学学長、アートコレクター  
宮津大輔氏



株式会社AGホールディングズ代表  
柴山哲治氏

### 審査員のみなさまの総評 (一部)

- 通常の「美術」の文脈では観ることが出来ないような作品と、多数触れあえることがこの展覧会の魅力になっています。これからもアーティストの皆さまの、新たな挑戦を楽しみにしております。
- 多彩なジャンルの作品が多く、アーティストにとっては自分と異なる種類の作品から刺激を受けられ、得るものが多い展覧会になっているのではないかと思います。
- 様々な技法や素材、自由なアイデアなどから生まれた個性豊かな作品をたくさん拝見することが出来、楽しみながら審査を行なえましたが、一方で賞の選定が非常に難しかったです。



## 「第26回 日本の美術 ～全国選抜作家展～」閉幕にあたり

世界中で感染が拡大している新型コロナウイルスによって、犠牲になられた方とご家族、罹患された方々に謹んでお悔やみとお見舞いを申し上げます。

この度、上野恩賜公園内、上野の森美術館にて行なわれた「第26回 日本の美術 ～全国選抜作家展～」が盛況の裡に閉幕いたしました。ご出展アーティストの皆様をはじめ関係各位に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

1995年に始まってから毎年、著名な美術評論家やアートディーラー、コレクターの方々を招いて出展作品を審査する「日本の美術」は、昨年で25周年を迎え、新たな一步を踏み出しました。一般来場者の声も取り入れてアワードを選出するという、特有の作品評価スタイルも相俟って開催以来、本展は多くの人々から支持を得ています。

本年は、東京画廊+BTAP代表の山本豊津氏、美術評論家の勅使河原純氏、「アートのある暮らし協会」の代表理事・枝澤佳世氏、株式会社AGホールディングズ代表の柴山哲治氏、横浜美術大学学長の宮津大輔氏、プライダルファッションデザイナーの桂由美氏にご参加いただき、豪華な面々による審査を実施。

開催初日から入口には長い行列が連なるほどの大盛況で、入場制限にもご協力いただきました。皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。コロナ禍での開催にも関わらず、多くの方にご来場いただき、希望や安らぎをご提供出来たことは、本展の主催者として大変嬉しく、これもひとえにご出展の皆様のお力によるものと存じます。

世界的にも主要な文化発信の場として注目されている上野恩賜公園の、由緒正しき施設において、4半世紀にわたって本展の開催が続けられていますのも、ご出展の皆様のご協力のお陰に存じます。

今後も芸術作品の魅力を広く紹介し、皆様のご活動の一助となるべく努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 クオリアート  
代表取締役社長 櫛田英俊

### ご来場者の声

- 上野観光の途中で立ち寄りしました。無料でたくさんの作品を鑑賞することができ、来年もまた観に来たいと思いました。
- 来場の記念にポストカードを購入しました。たくさんの作品から選ぶことが出来るのでそれも楽しかったです。
- 普通に鑑賞するだけではなく、アンケートで審査に参加出来るのが良かったです。ただ鑑賞するだけでなく、よりじっくり作品と向き合えました。
- 出展アーティストの紹介で来ましたが、ご紹介いただいた方以外にもたくさんの素敵な作品を拝見出来て良かったです。

### 「第27回 日本の美術 ～全国選抜作家展～」開催決定!

第27回

# 日本の美術

全国選抜作家展

2022年2月12日(土)～2月16日(水)

上野の森美術館

主催：日本の美術選展実行委員会 運営：株式会社 クオリアート

頂上<sup>ここ</sup>に立つ高揚は、  
挑戦した者しかわからない。